

Edition Another View

感受

Raffiné

人は、
世界を見てから感じているのではない。

触れるよりも先に、
すでに何かを受け取ってしまっている。

感受は、
繊細さでも、
感情の強さでもない。

傷つきやすさや、
気にしやすさと混同されることもあるが、
それは結果にすぎない。

感受とは、
世界がどれほど内側を通過してしまうかという、
構造の話である。

内側の密度が高いと、
世界は浅く留まらない。

けれど、
遮蔽が少ないと、
その密度はそのまま透過してしまう。

ため込まれず、
加工されず、
そのまま内側を通り抜けていく。

感受密度と透過性は、
同時に成立する条件である。

だから、
透明でありながら、
浅くならない。

深いのに、
重くならない。

透明感と深度は、
相反するものではなく、
同じ条件から生まれている。

世界を遮らない内側は、
そのまま深さを抱え込む。

A glass sphere sits on a surface with a colorful, marbled pattern. Above the sphere, a dark, textured fabric object, possibly a sleeve or part of a garment, is visible. The scene is lit from the side, creating highlights and shadows on the sphere and the surface.

感じすぎているのではない。

ただ、
世界がそのまま通ってしまっているだけ。



R.

Edition — 存在の本質
別景：感受

著者：美学思想家 古川玲奈
発行：Raffiné
2026